

東京臨海部の地盤環境

東京臨海部の天然ガス

東京都を含む千葉県、茨城県、埼玉県および神奈川県にまたがる南関東地方一帯の地下には、「南関東ガス田」と呼ばれる日本有数のガス田が広がっています。この天然ガスはメタンからなる水溶性天然ガスで、東京臨海部では江東区中央部から江戸川区南部にわたる荒川河口付近の 30 箇所に設けられた延べ 40 本にも及ぶ深さ 500～2,050m の深井戸から地下水とともに採取されました。昭和 32 年(1957)以降には、東京ガスへ供給するために、江戸川区や江東区では井戸の掘削が盛んになりましたが、昭和 45 年(1970)の高度成長期には地下水の過剰な揚水に伴う地盤沈下が深刻な社会問題となりました。事態を憂慮した東京都は、対策として付近一帯の地下水の汲み上げを規制しました。その後、ガス採取が目的の地下水の汲み上げについても自主規制を要請するとともに都が鉱業権を買収した結果、天然ガスの採取は昭和 47 年(1972)12 月末をもって全面的に停止となりました。

3 ページに昭和 47 年度(一部昭和 33 年度を含む)から平成 4 年度までに東京都内の建築工事に伴い発生したガスの噴出発生地点を示します。この図からも、東京都内で湧出ガスが発生する可能性が高い地域は、江東区中央部から江戸川区南部にかけての荒川河口付近一帯の臨海部を中心とし、低地部全域に広がっていることがわかります。



■ 南関東ガス田分布範囲

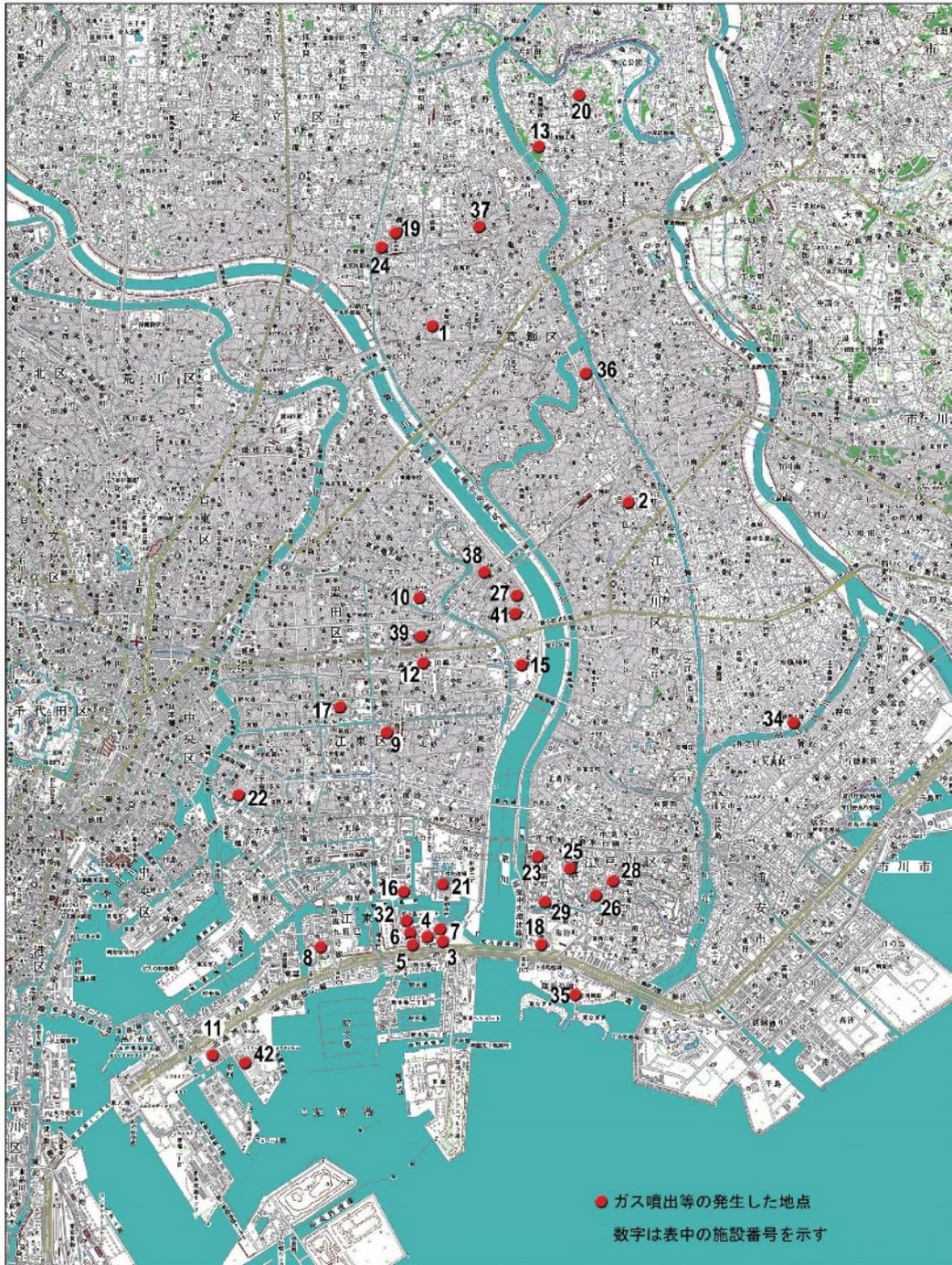
(出典：天然ガス対策ガイドブック)

※天然ガスについては、「技術ノートNo.47 2014.11 東京の天然
(地中) ガス」にて紹介していますので、あわせてご覧くださ
い。

QRコード

http://www.tokyo-geo.or.jp/technical_note/bv/No47/index.html?page=1





ガス噴出等発生地点

「シールド工事におけるガス爆発事故防止の手引き 平成 15 年 10 月東京都水道局編」より作成

地図は国土地理院数値地図 5000(地図画像)「東京」を利用した

■ 東京都内の建築工事におけるガスの噴出発生地点

(出典：天然ガス対策ガイドブック)